

千代田区交通バリアフリー  
交通安全特定事業計画  
〔四ッ谷・市ヶ谷エリア〕

平成17年12月

東京都公安委員会

千代田区交通バリアフリー基本構想における  
「四ッ谷・市ヶ谷エリア重点整備地区」の交通安全特定事業計画

「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」（交通バリアフリー法）第3条の規定による基本方針及び第11条の規定に基づき、また千代田区交通バリアフリー基本構想に即して、四ッ谷・市ヶ谷エリア重点整備地区における交通安全特定事業計画を下記のとおり定める。

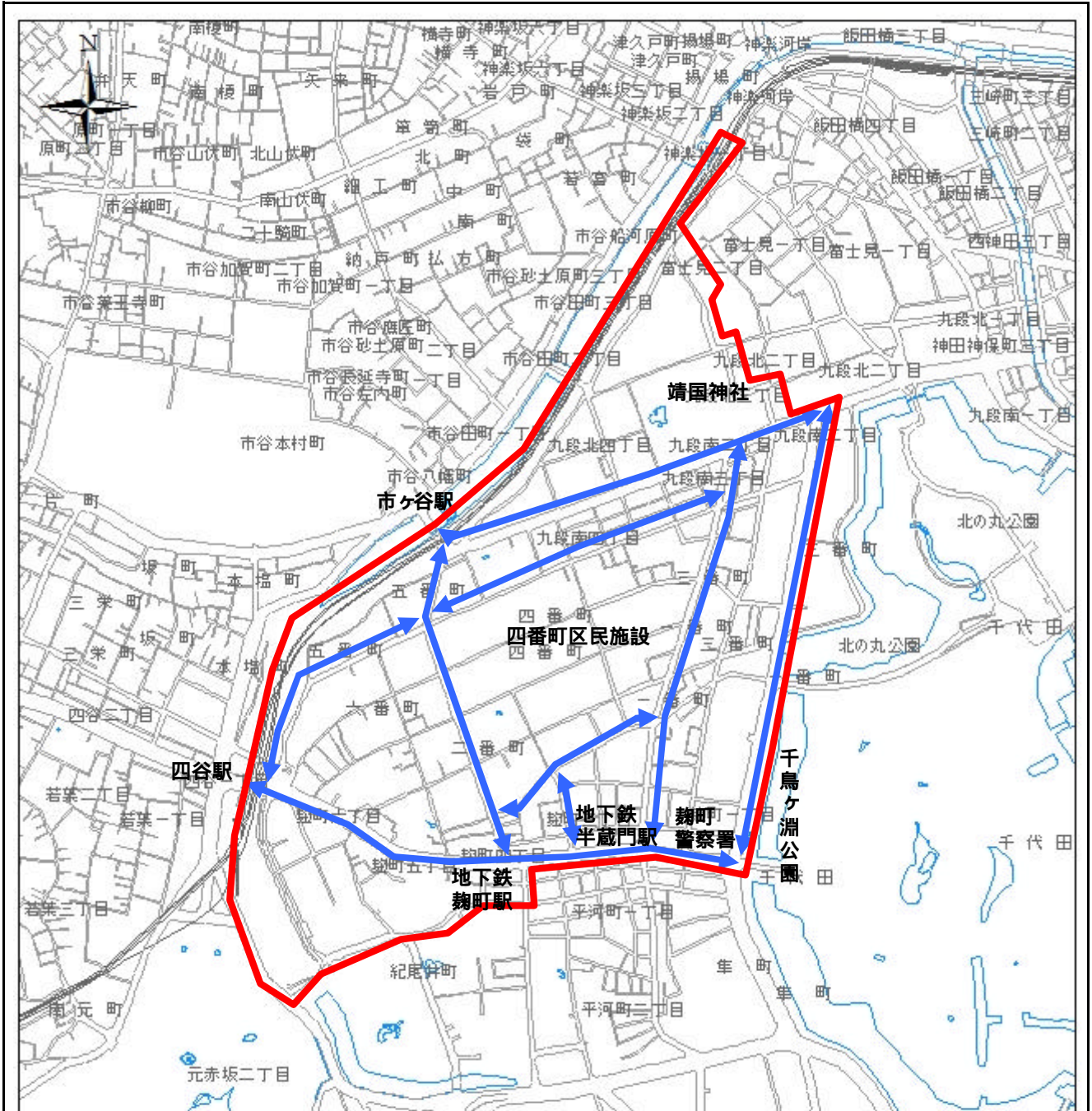
記

1 交通安全特定事業を実施する道路の区間(位置図参照)

特定経路			道路区間		
	特定旅客 施設名	連絡する 施設名	路線名	通称道路名	区間
(1)	JR四ッ谷駅	麹町警察署	国道20号	新宿通り	四ッ谷駅前 ~ 内堀通り
(2)	JR四ッ谷駅	四番町 区民施設	区道254号線	二七通り	日本テレビ 通り ~ 大妻通り
			区道192号線		新宿通り ~ 日本テレビ 通り
(3)	JR市ヶ谷駅	靖国神社	主要地方道 302号線	靖国通り	市ヶ谷駅前 ~ 靖国通り
(4)	JR市ヶ谷駅	地下鉄 麹町駅	区道220号線	日本テレビ通り	市ヶ谷駅前 ~ 新宿通り
(5)	JR市ヶ谷駅	地下鉄 半蔵門駅	区道166号線	大妻通り	新宿通り ~ 靖国通り
			区道207号線		大妻通り ~ 日本テレビ 通り
			区道221号線		新宿通り ~ 麹町2丁目 前
(6)	JR市ヶ谷駅	千鳥ヶ淵 公園	都道401号線	内堀通り	新宿通り ~ 靖国通り

位置図

区市町村名	千代田区
重点整備地区名	四ッ谷・市ヶ谷エリア



この地図は、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。(承認番号)17都市基交 第354号 0 75 150 300 m

凡例

- : 重点整備地区
- : 特定経路

## 2 道路区間毎の交通安全特定事業計画

前号の道路区間毎に実施すべき交通安全特定事業の内容及び実施予定期間は以下のとおりである。

### 国道20号〔四ッ谷駅前～内堀通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成19～22年度〕

### 区道254号線〔日本テレビ通り～大妻通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕

### 区道192号線〔新宿通り～日本テレビ通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕

### 主要地方道302号線〔市ヶ谷駅前～靖国通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成19～22年度〕
- ・特定経路上の交差点部での横断歩道の設置……………〔平成18～19年度〕  
道路管理者による歩道化予定箇所は除く

### 区道220号線〔市ヶ谷駅前～新宿通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕

### 区道166号線〔新宿通り(麹町1丁目)～靖国通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕

### 区道207号線〔大妻通り～日本テレビ通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕

### 区道221号線〔新宿通り～麹町2丁目〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成17～22年度〕
- ・特定経路上の交差点部での横断歩道の設置……………〔平成18～19年度〕  
道路管理者による歩道化予定箇所は除く

### 都道401号線〔新宿通り～靖国通り〕

- ・信号機の改良（音響機能の整備、歩行者用青時間の確保）……………〔平成19～22年度〕

### 3 全道路区間共通で行う交通安全特定事業計画

全道路区間で共通して、実施すべき交通安全特定事業の内容は以下のとおりである。

#### (1) 実施内容

##### ア 道路標識及び道路標示の設置に関する事業

(ア) 道路標識については、更なる視認性向上を図るため、超高輝度化等を実施  
道路標識の高輝度化については既に対応済

(イ) 道路標示については、適切な補修・高輝度化を実施

##### イ 違法駐車行為の防止のための事業

(ア) 横断歩道上、バス停留所付近における違法駐車車両の重点的な指導・取締りの実施

(イ) 千代田区による放置自転車撤去と連携した視覚障害者誘導用ブロック上の放置二輪車等の指導・取締りの実施

(ウ) 千代田区と連携した違法駐車行為の防止についての広報啓発活動の実施

#### (2) 実施予定期間

継続的に実施

### 4 その他交通安全特定事業の実施に際し配慮すべき重要事項

#### (1) 関係機関との連携の強化

交通安全特定事業の実施に当たっては、相互の事業の進捗状況を確認するための意見交換を行うとともに、定期的に事業の検討及び点検を行う。

#### (2) 周辺の交通規制等との整合性の確保

交通規制の実施に当たっては、周辺の交通規制等について、交通流の整序化等が図られるよう、周辺道路へ与える影響を常に調査し、必要な見直しを実施する。

#### (3) 違法駐車行為の防止のための事業における配慮事項

違法駐車取締り等に加え、違法駐車行為の防止に資する事業について、関係機関と連携して、重点的かつ計画的に実施する。